

「第5回防災グローバル・プラットフォーム会合」(メキシコ・カンクン)
特別セッション1 (より良い復興と備え)

2017年6月27日
内閣府(防災)

「効果的な災害対応への備えの向上と復旧・復興における『より良い復興』」をテーマとしたセッションにおいて、羽府内閣府審議官が、パパドポウロス ARISE 理事長とともに、共同議長を務めました。イノンゲ・ウィナ、ザンビア副大統領を含む計4人のパネリストの参加を得て、過去の失敗を含めた教訓を通して、同テーマの現在の状況と課題の検討や、それらを確実なものとするために国や地方レベルにおいて、防災戦略がどのように構成されるべきか、などについてパネルディスカッションが行われました。本セッションの成果として、羽深内閣府審議官から、

- ① 効果的な災害対応への備えの向上と、「より良い復興」を進めることは、グローバル・ターゲットの達成に重要である (ザンビア副大統領発言)
 - ② 防災には国と地方・コミュニティ間の連携が重要で、防災に対する責任・役割を共有するプラットフォームづくりが有効である (ヨルダン)
 - ③ 女性や障害者、先住民を含めた多様なステークホルダーが参画すべき、また、復興計画の策定には、地域住民の参画が重要である (米国、日本)
 - ④ 将来起こりうる災害のリスクを評価し、そのリスクに対して、あらかじめ対策を講じておくことが重要である (日本)
 - ⑤ 市民によるコミュニティ活動を促進しておくこと (EC)
 - ⑥ 国際協力の推進が必要となること (ARISE)
- などを指摘し、取りまとめました。

